

【担当教員名】 伊東正裕 吉田光爾	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	60

<一般目標：G I O>

精神障害者の社会復帰や社会参加・自立を推進する援助活動を担うために、演習形態により具体的事例を検討することを通して、精神保健福祉士の専門的援助技術及びリハビリテーション技法について、統合的に習得する。

<行動目標：S B O>

1. 精神病院等保健・医療施設及び社会復帰施設等福祉施設における精神障害者援助技術のモデル的な事例について、学習課題にそって具体的に検討できる。
2. 面接技術やリハビリテーション技法、さまざまな記録法を用いた援助の評価や効果測定ができる。
3. 精神障害者に対する援助技術及びリハビリテーション技法を実際に活用できる。
4. 保健医療機関におけるチーム医療や福祉施設におけるチームアプローチを実践できる。
5. 精神保健福祉士としての職業倫理を実践できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・担当教員
1.2	演習の課題と展開方法・保健医療施設等におけるケースワーク1 <社会復帰相談事例>	1～5	演習 伊東・吉田
3.4	保健医療施設等におけるケースワーク2 <疾病・障害に伴う相談援助事例>	"	" "
5.6	社会復帰施設等におけるケースワーク1 <統合失調症の長期にわたる生活援助例>	"	" "
7.8	社会復帰施設等におけるケースワーク2 <地域生活における援助—生活支援例>	"	" "
9.10	保健医療施設等におけるグループワーク・精神科デイケアの実際 <デイケア通所例>	"	" "
11.12	社会復帰施設等におけるグループワーク <グループの葛藤解決にかかわる事例>	"	" "
13.14	セルフヘルプ・グループとグループワーク1 <セルフヘルプ・グループの支援例>	"	" "
15.16	セルフヘルプ・グループとグループワーク2 <AAのセッション例>	"	" "
17.18	保健医療施設等におけるコミュニティワーク <コミュニティワークの実際例>	"	" "
19.20	社会復帰施設等におけるコミュニティワーク <リハビリテーションに伴う相談例>	"	" "
21.22	地域組織化とコミュニティワーク <小規模作業所・グループホームづくりの事例>	"	" "
23.24	チームアプローチによる援助 <チームアプローチによる援助事例>	"	" "
24.26	ケアマネジメントによる援助 <ケアマネジメントによる援助事例>	"	" "
27.28	ソーシャルサポート・ネットワーク援助 <ソーシャルサポート・ネットワークによる援助等>	"	" "

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	改訂第3版 精神保健福祉援助演習	柏木昭・石川到覚・荒田寛編	へるす出版	2004 2940円
参考書	授業中に適宜紹介する。			
その他の資料				

【評価方法】

出席状況・受講態度・レポートなどにより、総合的に評価する。

【履修上の留意点】

小グループで事例検討を行なうため、実習などでやむを得ない場合以外は欠席しないこと。出席状況によっては、レポート提出を課す場合がある。

社会福祉学科 専門